



# マーチィ's ROOM

## マーチィに訊け!

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます!

「高さ制限とまちづくり」

著者：大澤昭彦 出版社：株式会社 学芸出版社



建物の高さは都市のあり方に大きく影響するが、その規制の緩さに起因して住民と事業者の意識にズレが生じている。

本書は、建築物の高さ制限の実態や課題を明らかにすることを通じて、今後の建築・都市計画法制のあり方や、これから高さ制限の導入や見直しを行う自治体等にとって有益な知見が示されている。

また、地区レベルから行政区域全体まで、多様なレベルでの活用が可能である景観法に基づく景観計画の観点からも、全国自治体の高さ制限の実態と課題を示しており、高さ制限を活用したまちづくりの事例として、城下町の景観や水辺の景観、山への眺望景観など、テーマに分けたまちづくりの実例も紹介されている。

建築物の高さを適切にコントロールすることは、街並みを形成する上での重要な要素となることから、行政、住民等がまちづくりのあり方を考える上での手引書として活用できる一冊となっている。

今号のおすすめ  
ライブラリー  
こちら!



## マーチィ VOICE

### ●ファシリテーターの紹介●

甘楽町 建設課 山田 勇人



山田 勇人さん(左から3番目)



講座の様子

平成30年7月に群馬県まちづくりファシリテーターの認定を受けました甘楽町建設課の山田です。

私は、「魅力あるまちづくりパートナーネットワーク講座」に参加させていただくまで、ファシリテーターについて全く知りませんでした。そんな中初めてファシリテーター役をした時、時間調整をしながら意見の引き出しを行うことはとても難しかったです。それでもワークショップの回数をこなしていくことで、ノウハウを少しずつ学びながらグループの方々にも助けられ、全6回の講座を修了することができました。ワークショップでの素材集めとして街歩きを

する中でグループの方々より親睦を深めることができ、さらに大下先生や事務局の方々の巧みな場づくりのおかげで講座が進んでいくほど楽しく学ばせていただきました。最初は知識もなく不安でしたが、自分にとって為になる技術を身に着けながら、受講者の方々と貴重な交流もでき、本当に濃密な6日間を過ごすことができました。

甘楽町では、今年度よりアクションプログラムの策定に取り組む予定ですので、的確な事前準備やポジショニング手法など、講座で学んだファシリテーターとしての技術を活かしてこれからのワークショップに臨んでいきたいと思っています。

## マーチィの掲示板

### ミズベリングフォーラム2019に 参加してきました!!

皆さん、こんにちは。まーちィす2年目のとっぴです。

2019年2月28日(木)、東京都渋谷区にある渋谷ストリームホールで行われた「ミズベリングフォーラム2019～川ろうぜ、街がえようぜ大会議～」に参加してきました。

このフォーラムは、水辺の利用者を増やし、まちと一体となって水辺を徹底的に活用する「ミズベリング」を広めることを目的に、国土交通省とミズベリングプロジェクト事務局が共同で開催したものです。

「川ろうぜ、街がえようぜ大賞」を受賞した11団体の方から取組事例の紹介がありましたが、どれも常識に捕らわれない取組で、まちを変えていくためには柔軟な発想が大切なんだと改めて感じました。オープニングから演出が派手だったり、在フィンランド日本国大使館の職員とテレビ電話による中継をして現地の先進事例を紹介したりと驚くことばかりでした。また、スマートフォンを使いリアルタイムで質問やコメントをすることができ、それに対してパネリストがコメントをするなど、会場が一体となったフォーラムになっていて、終始楽しみながらまちづくりについて考えることができました。



多くの人で賑わう会場



全員参加のバックカスティング討論会

## マーチィの 独り言



『おっ!!まっちィ~』をご愛読の皆様、こんにちは。今年度の第一号は、新元号「令和」とともに発行させていただきます。

『おっ!!まっちィ~』では、まちづくりの取組み事例などを紹介させていただいていますが、読者の皆様が思わず行ってみたい、参加してみたいと思うような旬な情報をお届けしたいと思いますので、よろしくお祈りします。

